

離床・転倒・徘徊を1台で見守る

早めの気づきで、夜間の見守り負担と事故リスクの低減を支援します。

離床・転倒・徘徊を1台で見守る

～ 早めの気づきで、安心の介護を ～

離床検知

ベッドからの離床を素早く検知
利用者がベッドを離れたことを
すぐにお知らせします。

転倒検知

転倒を即座に検知
ベッド周辺での転倒を検知し、
スタッフにアラートを送ります。

徘徊検知

徘徊・離れすぎを検知
設定したエリアからの離脱や
不審な移動を検知し、お知らせします。

ナースコール・通知
スタッフに即時お知らせ
(音・画面・無線)

主な特長

- ✓ 3つの検知で、事故を未然に防止
離床・転倒・徘徊を1台で対応
- ✓ 高精度センサー
誤検知を低減し、確実に検知
- ✓ 簡単設置
ベッド下に置くだけで使用可能
- ✓ 安心の見守り
利用者の安全と介護スタッフの負担軽減

3つの検知で、
より安心できる介護環境を実現

ベッド下設置の高感度センサーが、
利用者の動きをしっかりキャッチ！

離床検知 転倒検知 徘徊検知

一般的な離床センサーとの違い

マットスイッチ・人感センサー

- ・介護者にも反応する
- ・作業前後にセンサーの切／入が必要
- ・主に離床のみを検知

RTH-25

- ・介護者を区別して自動除外
- ・センサーの切／入作業が不要
- ・離床・転倒・徘徊を1台で検知

開発中

ナースコール連動に向けて改良中

施設の既存設備に合わせて検討します

✓ 非接触LiDAR

✓ カメラ不使用

✓ Wi-Fi不要

✓ 最大40台管理

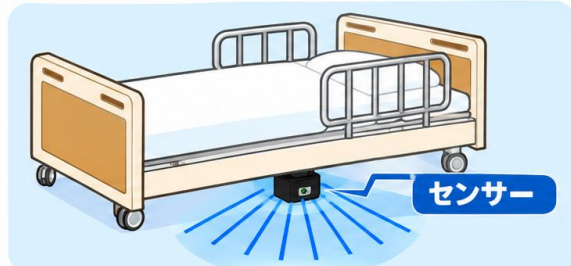
夜間の「すべて見に行く」から、必要な場所へ早く対応する見守りへ。

ご相談受付中

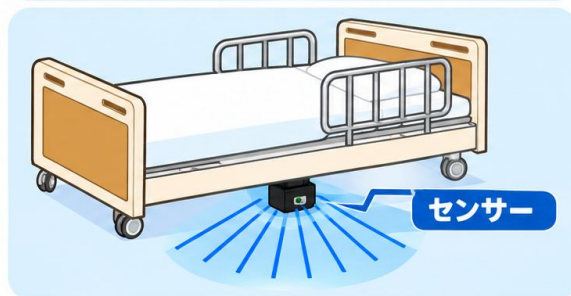
RTH-25の仕組み

ベッド下センサー → LoRa → センター装置

センサー



長距離無線
(LoRa)



長距離無線
(LoRa)

センター装置



離床・転倒・徘徊を3つの機能で見守ります

センサーは
ベッドの下に設置します1 座り込んだり寝転ぶと**転倒**と判定します。2 床に足を着くと**離床**と判定します。

3 介護者は自動で除外します。

4 部屋から出れば**徘徊**と判定します。

高精度な検知で
早期対応が可能

誤検知を減らす
安心の設計

工事不要で
簡単設置

入居者の安心と
介護スタッフの負担軽減をサポートしま

導入しやすい設計

- ✓ **最大40台** センター装置1台で一括管理
- ✓ **LoRa通信** 施設内をカバーする長距離無線
- ✓ **Wi-Fi不要** 新たな無線LAN構築が不要
- ✓ **カメラ不使用** 映像を撮影せずプライバシーに配慮
- ✓ **工事不要** 必要な居室から段階的に導入

設置のポイント

- 1 センサーへの振動で部屋の形状測定を開始
- 2 測定開始後は、速やかに退室
- 3 約1分で部屋の形状測定が完了
- 4 清掃時などに触れた場合も再測定

※本製品は夜間の監視を基本とします。

製品概要

製品名	離床・転倒・徘徊 見守りセンサー
型式	RTH-25
検知方式	非接触LiDAR方式
通信方式	LoRa（長距離無線通信）
TAISコード	02363-000003
取得特許	特許第7186327号